

# News Letter

発行：公益財団法人スペイン舞踊振興 MARUWA 財団 〒105-0014 東京都港区芝3-16-13 MARUWAビル 2階  
TEL：03-5419-6513 FAX：03-5419-6514 URL：http://www.mwf.or.jp E-mail：info@mwf.or.jp

## 第10回 CAFフラメンコ・コンクール結果報告

去る2019年3月、東京・北千住 Theatre1010 (シアターセンジュ) において、第10回 CAF フラメンコ・コンクールの本選が開催されました。その結果についてご報告させていただきます。

### ●10年ぶりに男性舞踊手が栄冠！

日本のフラメンコの未来を支援するために、当財団が人材育成事業の一環として、2002年より実施してきたCAFフラメンコ・コンクール。将来性のある舞踊家を発掘し、スペインでの研修機会を提供するための対象者選考を目的としており、今回で10回目の開催となりました。

北は北海道から南は沖縄まで、さらには台湾や中国からも応募のあるなか、ビデオ審査による一次審査を通過した30名が1月27日(日)の二次予選に挑戦し、そこで好成績を収めた上位10名が3月2日(土)に開催された本選に臨みました。

1階席がほぼ満席となるほど大勢の観客が詰めかけた今回、見事優勝に輝いたのは、総合得点63.44(技術点64.78、芸術点62.09)※を獲得した中原潤さん(26歳)。2009年の高木亮太さん以来、10年ぶりの男性優勝者です。そのダイナミックで豊かな表現は観る者を惹きつけ、2位以下を10ポイント近く引き離す高得点を叩き出しました。準優勝は総合得点54.28(技術点54.95、芸術点53.60)の谷口祐子さん(34歳)。年齢的に最後の挑戦が実を結びました。

中原さんと谷口さんには、それぞれスペイン研修のための賞金とスペイン往復航空券が授与されました。中原さんはスペイン屈指の名門校といわれるレアル・コンセルバトリオ・プロフェシオナル・デ・ダンサ・マリエンマへ留学。フラメンコの技術を磨くだけでなく、振り付けや構成などの舞台芸術も学びたいと意欲に満ちて、今秋、現地へ渡りました。一方、谷口さんはクリスティーナ・ヘーレン財団



左から海外留学賞の伊藤笑苗さん、優勝の中原潤さん、準優勝の谷口祐子さん。

フラメンコ芸術学校へ留学。一流の教授人が揃っている学校で、自分の踊りの幅を広げたいと同じく今秋に現地へ渡りました。

なお、総合得点53.06(技術点53.33点、芸術点52.78)で海外留学賞を受賞された伊藤笑苗さん(22歳)は、クリスティーナ・ヘーレン財団フラメンコ芸術学校留学資格と滞在補助費、スペイン往復航空券が授与されました。来年6月までの9か月間、クリスティーナ・ヘーレン財団フラメンコ芸術学校に在籍します。

※審査は現在の舞踊コンクールの中で最も妥当な結果が出るとされている偏差値方式を採用

### ●フラメンコを学ぶ学生の興味を喚起

今回、事前にお申し込みいただいた学生の方を二次予選(二階席)に無料招待しました。初の試みということもあり、観覧後、アンケートを実施したところ、「次回は私が出ます！」というコメントも寄せられ、実施した意義を感じます。さらに、コンクールをきっかけに、当財団スタジオ「CASA DEL ARTE」で開催している学生フラメンコ無料教室に足を運ぶ人も現れるようになりました。

一人でも多くの若者がフラメンコに興味を抱いてくれるのは実にうれしいことです。今後もフラメンコの普及・振興に尽力していきたいと思っておりますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



エキシビジョンでは、ミラグロス・メンヒバルがパフォーマンスを披露。

## フラメンコ・ワークショップ報告

芸術の質の向上を目的に、当財団では本物のフラメンコを学ぶ機会を提供するワークショップを開催しています。2019年は東京と名古屋で行われ、充実した内容のレッスンが繰り広げられました。



ミラグロス・メンヒバル氏と生徒たち

受けていただきました。またない機会であることから、コンクールのファイナリスト10名をワークショップに無料招待させていただきました。

1日につき昼夜2クラス、各定員22名のレッスンは連日大盛況！ 昼クラスでは「アレグリアス」を題材に、パタ・デ・コーラやマントンの使い方を中心に指導を、夜クラスでは「セラーナ(シギリージャ系)」を題材に振り付けをきめ細かく指導していただきました。

これまで本場スペインから講師を招聘したワークショップでは、言葉の問題から、身振り手振りでのレクチャーになりがちでしたが、今回、日本で幅広く活躍するフラメンコ舞踊家、田村陽子さんにサポート役を依頼し、メンヒバル氏の言葉をすべて通訳。細かな部分まで丁寧に翻訳してくださったおかげで、参加者からは「よく理解できた」「わかりやすかった」という満足の声が多々。運営側も学びの多いワークショップとなりました。

8月5日(月)～9日(金)に行われたワークショップでは、アンドイツ・ルイバル氏を講師に迎えました。1988年生まれの31歳という若さながら、活躍の場はスペイン国内にとどまらず、海外にも広げるルイバル氏。

上級者向けの昼クラスでは、「ソレア・ポル・ブレリア」を、中級者向けの夜クラスでは「アレグリアス」を指導していただきました。受講者と世代が近いこともあって、なごやかな雰囲気でありつつも熱のこもった指導となり、ハイレベルのレッスンとなりました。



ラ・モネタ氏と生徒たち

Canastera”に出演。その姿に多くの方が魅了され、タブラオやテレビ、ラジオなどから出演依頼が殺到。16歳のときには、マドリッドの“La Sala Suristán”の舞台に立ち、その名を全国区にしました。以来、天性の舞と称えられる舞踊で第一線を走り続けています。

そんな人気舞踊家が講師となって指導してくださったのは、得意のヌメロ。上級者向けの昼クラスでは「タラント」を、中級者向けの「ロマンセ」をそれぞれエネルギーに、ときに繊細に、情感たっぷりに舞い踊りながら丁寧に教えていただきました。憧れの舞踊家の指導ということもあって、例年以上の盛況ぶりとなった今回。大満足の声とともに、5日間のレッスンは幕を閉じました。

### 【東京】通訳を入れたレッスンが大好評！

東京では、3月と8月の2回、当財団のスタジオ「CASA DEL ARTE」において、ワークショップが開催されました。

まず、3月3日(日)～7日(木)の5日間にわたって行われたワークショップでは、前日に行われた第10回 CAFフラメンコ・コンクールで審査員を務めたミラグロス・メンヒバル氏に講師を依頼しました。メンヒバル氏といえば、セビージャ派のフラメンコ舞踊を代表する存在であり、パタ・デ・コーラの名手としても知られる著名な舞踊家。1997年からはクリスティーナ・ヘーレン財団フラメンコ芸術学校の舞踊科教授も務め、指導者としても定評があります。今回、メンヒバル氏にはコンクールの審査員に加え、エキシビションでソロを披露、さらにはワークショップの講師も引き

### 【名古屋】事前ヒアリングによって講師を選定

例年、大好評の名古屋ワークショップを、今年も8月12日(月)～16日(金)にかけて、名古屋「MARUWAスタジオ」で開催しました。今回も人気舞踊家ラ・モネタが講師という事もあり、あっという間に1日昼夜2クラス、各定員22名のレッスンは満員となり、遅れて知った方々にはお断りせざるを得ないほどの反響でした。

今回のワークショップでは、招聘する講師について事前にヒアリングし、そこで名が挙がったのが、フエンサンタ“ラ・モネタ”氏。今ももっとも脂の乗った舞踊家です。

アンダルシア州グラナダ出身で、8歳で地元のマリキージャ氏、カルメンマリ氏らから指導を受け、幼少期より才能が開花したら・モネタ氏は、10歳でサクラモンテのタブラオ“Zambra Maria la

当財団では、これからも皆さまの期待に応えられるような講座を企画したいと考えておりますので、どうぞご期待ください。また、ご意見・ご感想などございましたら、ぜひお気軽にお知らせください。

## 平成30年度 助成作品 報告

平成30年度の助成作品を下半期に上演された、DANZARTE スペイン舞踊団「El sombrero de tres picos ～三角帽子～」[助成金額：120万円]から谷淑江さん、AMI フラメンコスタジオ「AMI フラメンコリサイタル公演 Mensaje ～伝言～」[助成金額：100万円]から鎌田厚子さんより、公演を終えてのご感想を掲載させていただきます。

### 「El sombrero de tres picos ～三角帽子～」

谷 淑江



撮影者：大森 有起

この度は、DANZARTE スペイン舞踊団公演に多大なるご支援をいただき、ありがとうございました。初回の個人リサイタル、舞踊団として2度目の公演時にもマルワ財団からお力添えをいただきました。重ねてお礼申し上げます。

今回は、私にとって6回目の公演となりましたが、三角帽子の全幕上演に取り組みました。上演にあたり、キャスト20名以上とのリハーサル、バレエダンサーにカスタネットを教えること、様々な大道具や小道具の製作、私自身がハードなクラシコ エスパニョールやホタを全幕踊る体力、全てが初めての挑戦という公演でしたが、おかげさまで好評をいただくことができ、大変幸せに思います。これもマルワ財団のご支援の下、東京シティ・バレエ団、フラメンコキャスト、スタッフ、公演を応援して下さる多くの方々のおかげと心より感謝しております。引き続き、舞踊団の歩みをお見守りいただけますよう、お願い申し上げます。

### AMI フラメンコリサイタル公演「Mensaje ～伝言～」

鎌田 厚子

昔の話ですが、私がセビージャ在住の時代、チャノ・ドミンゲス(ジャズとフラメンコのピアノ奏者)のコンサートを聴きに行き、フラメンコの枠を遥かに超えた音の遊び満載の演奏でも、絶対なるフラメンコであった事に非常に感銘を受けました。“フラメンコが根底にしっかりあれば、フラメンコを違う形で表現してもフラメンコになる”それが私の挑戦心を動かし、今日まで、多数の創作の作品、舞台を創ることにチャレンジしてきました。全ての作品に自分なりに社会的テーマを組入れ、お客様の心にそれが伝えられるか、ひたすら挑戦してきた年月を過ごしてきました。しかし、そろそろ作品創りに終止符をつけてもいい頃、と思うようになり、その締めくくりとして、今までの真逆の発想で、フラメンコで笑ってしまうような、楽しくて面白い作品も創ってみようと、今回思い切って決心しました。振付ながら、皆で大笑する事も多々ありましたが、喜劇ものは、かなり慎重に考えて創り、そして演じる側のレベルが高くないと低級になってしまうので、3人の優れた日本の女性舞踊手に加え、スペインからの素晴らしいアーティスト達の力もお借りしました。結果、彼らの崇高な芸術性の協力によって、喜劇をも含め、立派な創作舞台として成り立ち、手応えのある舞台となりました。舞台上で演じた私達に拍手をいただきましたが、この舞台が出来ましたのは、貴財団から多大なる助成をしていただけたからです。このご支援に対して心からの感謝の気持ちに堪えません。そして陰で総力をあげて協力して下さったスタッフの方々にも感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。



撮影者：大森 有起

## 令和元年度 助成作品 報告

令和元年度の助成作品は、平富恵スペイン舞踊団(代表：平富恵さん)の「夢、フランコの粹と情熱/Hokusai Flamenco Fantasy ～葛飾北斎の浮世絵世界～」[助成金額：120万円]、今枝友加リサイタル事務局(代表：今枝友加さん)の「SINVUELO」[助成金額：60万円]、トルネージョ(代表：森田志保さん)の「森田志保フラメンコ公演『はな10』」[助成金額：40万円]、東京外国語大学 スペイン舞踊部・カンテ研究会(代表：梶原百花さん)の「スペイン舞踊部・カンテ研究会 第26回リサイタル」[助成金額：10万円]の4作品に決定いたしました。先に公演を終えられた東京外国語大学 スペイン舞踊部・カンテ研究会さんのご感想を掲載させていただきます。

### 「東京外国語大学 スペイン舞踊部・カンテ研究会 第26回リサイタル」

梶原 百花

毎年恒例となりました春のリサイタルも今年で26回目を迎えることができました。昨年度に比べ、約50名も多くの方々にご来場いただき、ご支援ご協力をいただいた方々をはじめ、皆さまに深く感謝しております。本公演では、大学で初めて触れたフラメンコに一所懸命打ち込んだ成果が表れたのではないのでしょうか。また、本リサイタルでは踊りだけでなく、カンテとギターのみでの発表もそれぞれ行いました。そちらも踊りに加え評価していただいたこと、大変うれしく思います。来年、再来年とよりよいリサイタルが開催できますよう部員一同励んでまいります。最後になりましたが、多大なご支援をいただきました貴財団に厚く御礼申し上げます。



撮影者：フォトハウス・ネオ照本

# 第11回 CAF フラメンコ・コンクール(海外派遣事業)

## 募集要項

一次予選 応募DVDによるビデオ審査

受付期間：2020年9月1日(火)～17日(木)【必着】

### ●日時・会場

【二次予選】2020年12月3日(木)15:30～  
北千住 Theatre1010(シアターセンジュ)

【本選】2021年1月11日(月・祝)16:00～  
北千住 Theatre1010(シアターセンジュ)

### ●賞

**優勝** 賞金100万円(含スペイン研修費)+スペイン往復航空券  
ガジャルドダンス社 オーダーフラメンコシューズ

**準優勝** 賞金50万円(含スペイン研修費)+スペイン往復航空券  
ガジャルドダンス社 オーダーフラメンコシューズ

**海外留学賞** スペイン留学資格+滞在費補助+スペイン往復航空券

ファイナリストは、当財団主催の東京ワークショップご招待いたします。



### ●応募資格

スペインでフラメンコ研修をご希望の35歳以下の方(2021年3月31日現在)

### ●応募受付方法

当財団ホームページの第11回 CAF フラメンコ・コンクール応募受付方法の「お問合せ」から、お問合せ内容に「コンクール応募」を選択し送信してください。応募用紙をメール配信いたします。応募用紙に必要事項を記入し、写真2枚(うち1枚は参加申込書に貼付)、生年月日を証明できる書類(パスポート、運転免許証等)のコピー、一次予選参加料振込明細書のコピー及び、一次予選画像DVDを当財団宛にご郵送下さい。【2020年9月17日(木)必着】  
※応募にあたりビデオ撮影の場所など、お困りの事がございましたらお問合せ下さい。

### ●課題曲・制限時間

〈一次予選〉ビデオ審査 CD、テープ等の音源可。

〈二次予選〉舞台上での審査

・アレグリアス系、ソレア系あるいはシギリージャ系(5分以内)※一次・二次は同じ曲でも可。  
・演奏者は3名までとし、ギター・カンテ・パルマのいずれかで構成する。CD、テープ等の音源による参加は不可。

〈本選〉舞台上での審査

・自由曲1曲(7分以内) ※予選以外の曲  
・演奏者は3名までとし、ギター・カンテ・パルマのいずれかで構成する。CD、テープ等の音源による参加は不可。

詳細は財団ホームページをご確認ください。

## 令和2年度 助成事業 募集案内

### ■助成対象

2020年4月1日(水)～2021年3月31日(水)までに終了予定のフラメンコやフラメンコ音楽の普及、向上につながるような国内公演、イベント企画で、他機関からの助成を受けていないもの。過去に当財団の助成を受けた場合でもご応募いただけます(プロ枠：総額300万円、学生枠：総額50万円)。

### ■応募方法

当財団ホームページの助成事業のお問い合わせフォーム(<https://mwf.or.jp/contact/>)より「助成応募用紙」をお申し込みください。応募用紙に活動の企画、予算、過去の芸術活動を要約してご記入の上、台本或いはプログラム構成、過去の公演ビデオ又はDVD(10分間)と共に郵送ください。

### ■応募受付期間

2020年1月10日(金)～2月10日(月)【必着】

### ■選考結果

意欲的で優れた公演、イベントの企画に対して、財団の選考委員による厳正なる審査結果を2020年3月31日(火)までに各団体宛に通知いたします。尚、助成金支給は公演終了後1か月以内の報告書、写真、印刷物等の提出により実施されます。

### ■お問い合わせ先

公益財団法人スペイン舞踊振興  
MARUWA財団  
〒105-0014 東京都港区芝  
3-16-13 MARUWAビル2階  
Tel.03-5419-6513  
Fax.03-5419-6514  
E-mail [info@mwf.or.jp](mailto:info@mwf.or.jp)  
URL <http://www.mwf.or.jp/>

